

湘南海岸公園 整備・管理計画

湘南海岸公園の 今後 10 年間の取組方針

素案

構 成

はじめに	2
第1章 湘南海岸公園の概要と特性	3
第2章 公園の目指す姿と主な目標	9
第3章 取組方針	12
資料編（過去の経緯・調査データ等）	別冊

はじめに

平成 31 年 3 月に、県立都市公園の整備と管理に係る諸課題を整理し、これを踏まえ、より良い公園づくりに取り組むための基本方針として「神奈川県立都市公園の整備・管理の基本方針」（以下「基本方針」という。）を改定しました。

「湘南海岸公園 整備・管理計画」は、この「基本方針」を具体的実現するため、湘南海岸公園の特性や社会状況を踏まえて、今後 10 年間で特に配慮すべき課題を整理した上で、湘南海岸公園の目指す姿とその実現に向けた目標、取組方針を定めたものです。

この計画により、県と指定管理者が湘南海岸公園の目指す姿や取組を共有するとともに、県立都市公園では、公園管理者のほか、民間事業者、関係団体、公園利用者など、多様な主体により整備や管理、運営が行われていることから、それぞれの主体が効果的・効率的な取組の展開につなげていけるよう、公園に関わる様々な人たちが、公園の特性や目指す姿、取組方針などを共有するために活用していきます。

また、計画に掲げられた目標の達成状況や各取組の進捗状況や社会状況を踏まえ、おおむね 5 年を目安に、必要に応じて見直しを行っていきます。

【参考】神奈川県立都市公園の整備・管理の基本方針

基本方針では、5つの視点から10の施策の方向性と24の施策の展開による体系を示しています。

視点	施策の方向性	施策展開の具体例
I 自然環境の保全と活用	(1)生態系や生物多様性の保全	①自然環境情報の共有と整備・管理方法への反映
		②外来生物対策や自然植生復元などの動植物の生息環境づくり
	(2)地球環境問題等への地域からの対応	③環境学習フィールドとしての機能向上
		④環境負荷軽減の推進と都市間環境問題へのアプローチ
II 災害対応の推進	(3)緊迫する自然災害への対応	⑤より具体的な発災時想定に基づく連携対応強化による防災力の向上
		⑥様々な災害に対応する防災施設の整備
III ユニバーサルデザインの推進	(4)誰もが安全・安心に過ごせる公園づくり	⑦安全で安心な公園のための施設の整備と管理
		⑧ユニバーサルデザインの推進
		⑨誰もが楽しめる利用・健康増進プログラムや憩いの空間の提供
IV 地域活性化への貢献	(5)歴史や文化の継承と創造	⑩歴史資源や伝統行事の継承
		⑪地域文化を育む舞台となる公園づくり
	(6)地域と一体となった魅力の向上	⑫周辺施設や観光資源とのネットワーク
		⑬地域活性化の推進 ⑭風景美術館を旨とした景観づくり
V 効率的で効果的な公園整備とサービス	(7)質の高いサービスの提供	⑮指定管理者制度の効果的運用
		⑯ニーズ把握を踏まえた施設・サービスの充実
		⑰広報、情報発信等の工夫
	(8)多様な主体との連携	⑱連携の多様化
		⑲民間活力の利用（Park-PFI等の活用）
		⑳連携のための仕組みの推進
	(9)既存公園の再生	㉑公園施設長寿命化計画の策定と更新
		㉒公園再生の着実な推進
	(10)都市の魅力をも高める都市公園整備の着実な推進	㉓都市公園の着実な整備の推進
		㉔国と連携した緑の拠点整備

第1章 湘南海岸公園の概要と特性

1-1 湘南海岸公園の概要

(1) 所在地 : 藤沢市片瀬海岸 2 丁目・3 丁目、鵜沼海岸 1 丁目・2 丁目

(2) 都市計画の概要

ア 都市計画決定

	日付	番号	面積
当初	1937(昭和 12)年 12 月 4 日	(確認中)	305.4ha

イ 公園種別 広域公園

(3) 都市公園の開設の概要

	日付	面積
当初	1957(昭和 32)年 11 月 1 日 (一部開園)	18.1ha
最終	2002(平成 14)年 6 月 8 日	17.4ha

(4) 位置図



(5) 航空写真



(6) 公園の主な施設

芝生広場、ちびっこ広場、水の広場、海風のテラス、多目的広場、サーフビレッジ、駐車場、ニエアル碑^{*}、テニスコート^{*}、新江ノ島水族館^{*}等

^{*}は都市公園法第5条の許可による設置管理許可施設

(7) 利用状況

令和元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
合計(人)	106,000	183,200	138,800	288,600	454,800	155,300
1,964,100	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	143,800	121,000	83,400	93,100	89,200	106,900

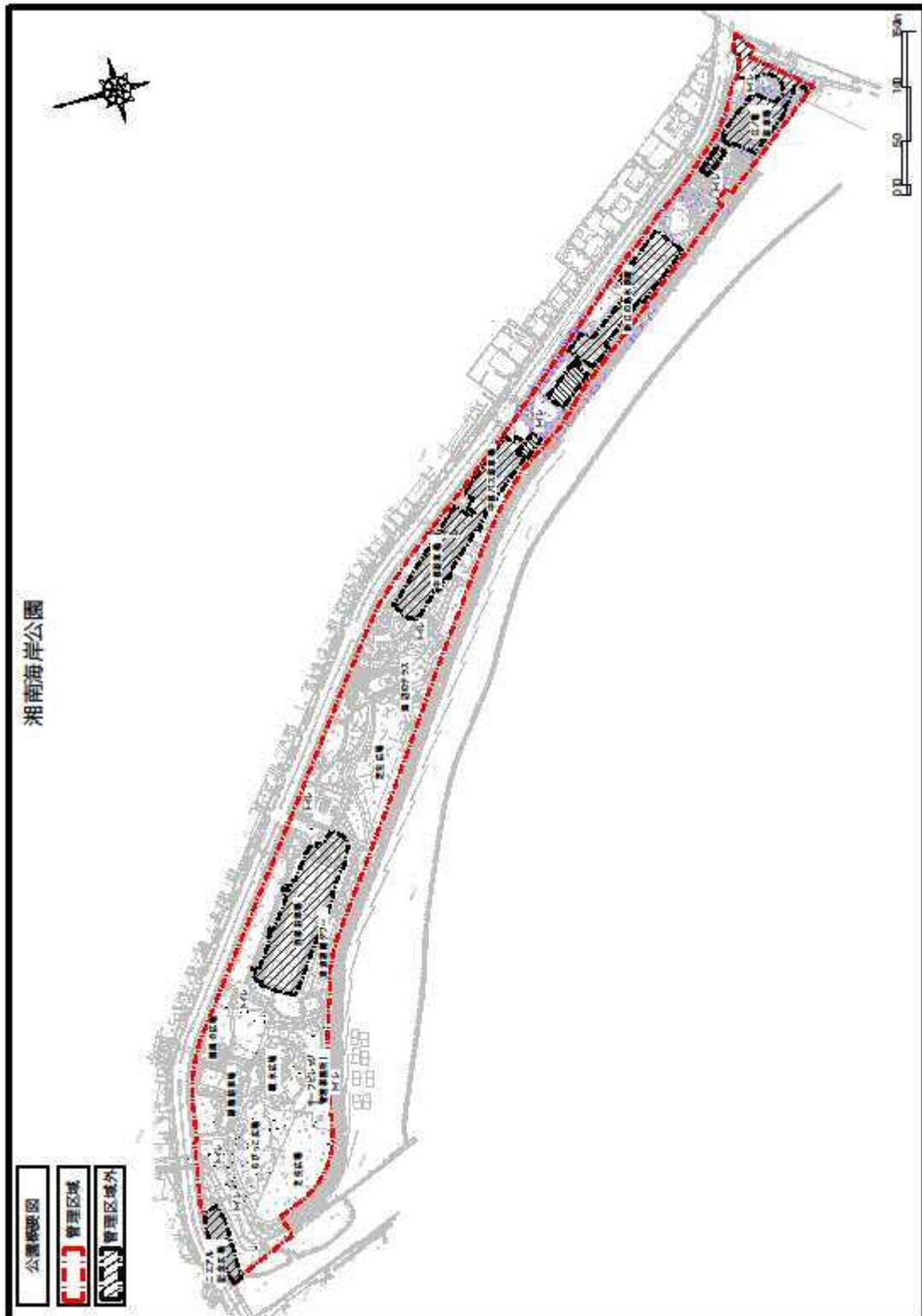
(8) 主なイベント開催状況

大きなイベントとしては、鶴沼ハワイアンフェスティバル、湘南海岸まつりを継続的に開催している他、その他にも地域と連携したイベントも実施。海岸のビーチバレーコートでは、日本最大のビーチバレー大会他様々な試合が開催されている。

イベント名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ハワイアンフェスティバル					●							
湘南海岸祭まつり										●		

未定稿

【湘南海岸公園概要図】



1-2 公園の特性

(1) 公園の成り立ち

湘南海岸における公園整備事業は、海浜緑地の保存、風景開発等を目的として計画され、昭和 12 年に都市計画決定されました。

戦後復興が進む中で、湘南海岸は京浜方面から日帰りで気楽に来ることができる保養地として人気が高まり、海水浴客が爆発的に増えたことから、国道の混雑解消、海水浴場の分散化等の課題に対応する目的も兼ねて、昭和 29 年から整備工事に着手し昭和 35 年に完成しました。整備の際には、現在の「民間活力の導入」に相当する特許事業の手法が導入され、公園史上画期的な方式として全国から注目を集めました。

(2) 公園の特性

湘南海岸公園は、湘南海岸線沿いに東西約 2 km にわたって広がり、全面に広がる相模湾の水平線と、西に富士山、東に江の島を望むことができる景勝地で、年間利用者数が県立公園では最も多い、神奈川県を代表する都市公園です。

海に面した立地のため、潮風による塩害や飛砂の被害に直接さらされる厳しい条件下にあり、また夏季の利用者が多く治安・風紀の維持が求められる公園です。

公園施設としては、開放的な芝生広場や、水の広場（噴水広場）、ちびっこ広場、多目的広場等があり、駐車場は園内に 5 ヶ所（道路施設である地下駐車場含む）あります。公園東部エリアには、P F I による新江ノ島水族館や体験学習施設もあり、江の島観光との回遊の拠点の一つとして、賑わいを創出する施設となっています。また、公園に接する海岸には、一年を通してサーフィンの利用が盛んで、ビーチバレーコートも常設されています。夏は片瀬西浜・鶴沼海水浴場が開設し、海水浴客で大変賑わいます。公園管理事務所であるサーフビレッジは、ビーチレクリエーションやライフセービング活動の拠点として活用されています。



(2) 公園特性の全体把握表

「神奈川県立都市公園の整備・管理の基本方針」に示す特性項目により、湘南海岸公園の特性を整理します。

特性項目	公園の状況
①緑地	クロマツ林は、砂防林としての役割も果たし湘南海岸の白砂青松の一部として地域景観を特徴づけている。一部には海浜植物の群落がある。
②生態系	—
③地形状況	西は引地川、東は境川、南は相模湾に囲まれた細長い地形の砂地。
④防災	海水浴客などのための津波避難タワー有（タワー上標高7.5m、A=50m ² 、100人収容）、避難訓練2回/年実施。公園沿いの国道134号は第一次緊急輸送路。
⑤歴史	ニエアル記念碑（中国国歌作曲者の碑）
⑥文化	藤沢市とマイアミビーチ市は姉妹都市提携
⑦交通アクセス	最寄り駅「鵠沼海岸駅」「片瀬江ノ島駅」「江ノ島駅」「湘南海岸公園駅」 徒歩 最寄りIC「茅ヶ崎海岸IC」から約10km
⑧駐車場容量	4カ所：普通車1305台、大型バス駐車場、片瀬地下駐車場（道路施設）普通車200台
⑨2km圏内（徒歩）	周囲の平坦部は市街地となっている。江の島は湘南地域有数の観光地である。他に片瀬漁港、スケートパーク、片瀬西浜・鵠沼海水浴場、片瀬東浜海水浴場等あり。圏域人口は約6.5万人。
⑩10km圏内（乗り物）	平坦部はほぼ市街地となっており、低丘陵地はゴルフ場や霊園、教育施設が立地する。東に約7kmに鎌倉があり、江の島とセットで観光客が多い。圏域人口約102万人。
⑪レクリエーション	海の見える開放的な広場と、噴水広場、遊具広場、テニスコート等あり。海岸では、海水浴やサーフィン、ビーチバレーなどが楽しめる。
⑫利用者数	年間約210万人
⑬利用者ニーズ	年間を通して、散歩・ビーチレクリエーション・新江ノ島水族館、夏季は海水浴の利用が多い。
⑭イベント	スポーツや健康づくりイベント、地域と連携した交流イベントが行われている。
⑮開園時期	昭和32年開園。平成3年度から再整備を行い中部、西部、東部の順に整備を進め、平成14年に完成した。
⑯住民参加	公園を含めた地域の花壇づくりや、クロマツの保護を行っているボランティア団体がいる。

未定稿

1-3 主な課題

基本方針に示した、県立都市公園が抱える8つの課題の中で、湘南海岸公園において今後10年間で特に配慮が必要な課題は次のとおり設定します。

課題1 効率的で効果的な公園整備と維持管理

湘南海岸公園は、海に面して立地しているため、常に潮風を受ける過酷な環境にあります。そのため、施設の劣化が速く、再整備後20年以上が経過している中、老朽化する施設の整理・更新や、塩害対策として塗装の塗替え等を計画的に実施し、適切に施設の長寿命化を図る必要があります。

また、強い南西風による飛砂が激しく、飛砂防止柵の設置・修繕や堆砂の除去などの飛砂対策が年間を通して必要となることから、少しでも効率よく実施できるよう工夫が求められます。

課題6 高齢者、障がい者など誰もが楽しめる公園づくり

湘南海岸公園は、夏の海水浴シーズンは特に治安や利用者マナーに課題があり、誰もが安心して利用できる公園の雰囲気づくりや、維持管理の工夫が必要です。また、海へ行くためにオートバイや車両が園路に進入する問題についても、物理的に締め出すとユニバーサルデザイン上支障が出るため、利用者の安全を確保するという観点から、抜本的な対策を検討する必要があります。

併せて、中部地区では、樹木の成長を踏まえた見通しの確保により、安全な利用の提供が必要です。

課題7 周辺資源との機能連携や情報発信の工夫を通じた地域活性化への貢献

周辺の観光資源としては、江の島や集客施設の要である園内の新江ノ島水族館が突出して人気が高いが、これら施設と連携して園内を含め回遊できるような仕組みづくりや、観光地の一つとして更なる魅力づくりに取り組み、湘南海岸公園の付加価値を高め、年間を通して多くの利用者が訪れるような工夫が望まれます。

【参考】今後の県立都市公園の整備・管理に係る課題（「基本方針」より）

課題1	効率的で効果的な公園整備と維持管理
課題2	県立都市公園の整備・管理の新たな指標の確立
課題3	サービス水準の確保と更なる向上
課題4	持続可能な社会の実現への更なる取り組み
課題5	大規模な自然災害への具体的で実効性のある対応
課題6	高齢者、障がい者など誰もが楽しめる公園づくり
課題7	周辺資源との機能連携や情報発信の工夫を通じた地域活性化への貢献
課題8	県民、NPO、民間事業者など多様な主体との協働・連携の推進

第2章 公園のめざす姿と重点的な目標

2-1 公園の目指す姿

湘南海岸公園は、海岸沿いの松林と公園施設を保全し、保健・休養に役立てるもので、現在も遠方からも非常に多くの観光客が訪れます。公園の芝生広場では雄大な相模湾や江ノ島、遠くに箱根と富士山をゆっくり眺めることができ、海を訪れた人々も快適に過ごすことができる、休息、休養の場です。そのほか、公園のクロマツ林は砂防林としての役割もあります。

また、水族館や体験学習館は、海を知り、海を体験する拠点、余暇活動の場としても非常に重要な役割を持っています。

一方、施設の劣化や治安などの課題も顕在化しつつあります。これらの課題に対応しながら、湘南海岸公園が提供する価値を維持、発展させ、誰もが安心して公園を利用できるようにするため、湘南海岸公園の目指す姿を次のとおり設定します。

【湘南海岸公園の目指す姿】

- ・美しい海岸沿いの景観のもとで、安全で快適な散策や休養ができる公園
- ・海水浴客やサーファーなどの海岸利用者を惹きつける公園
- ・海を知り、海を体験できるレクリエーションと一体となった公園

2-2 今後10年間を見据えた重点的な目標

湘南海岸公園のめざす姿を実現するため、基本方針の施策体系（視点、施策の方向性、施策展開の具体例）から、次のとおり今後10年間を見据えた重点的な目標を設定します。

目標の達成にあたっては、公園の管理者である県、指定管理者だけではなく、地元市や県民の方々、民間企業など、多様な主体との協働により進めることとします。

【目標】誰もが来園でき、楽しく過ごせる公園

公園の基本的な施設はユニバーサルデザインによる整備がなされていますが、本公園は最も来園者が多いことから、さらにインクルーシブの考え方も取り入れ、関係団体の意見も聞きながら、より様々な方が楽しく過ごせる公園をめざします。

幼児や体の不自由な方、外国人などへのサービスや利用プログラムの案内を積極的に宣伝し、新たな利用者層の開拓に取り組みます。

- 【施策体系】・視点 IIIユニバーサルデザインの推進
- ・施策の方向性 (4) 誰もが安全・安心にすごせる公園づくり
- ・施策展開の方向性 ⑧ユニバーサルデザインの推進

【目標】地域連携による活動の交流拠点

公園内の各施設事業者や周辺施設等と連携し、四季を通じて公園が賑わうよう、サービス提供や情報発信、回遊性の向上を図り、また、イベント開催等により、活動の交流拠点として、地域活性化に貢献していきます。

- 【施策体系】・視点 IV地域活性化への貢献
- ・施策の方向性 (6) 地域と一体となった魅力の向上
- ・施策展開の具体例 ⑫周辺施設や観光資源とのネットワーク

【目標】湘南海岸を代表する美しい景観の維持と向上

クロマツ林の適正な管理と保全により、湘南海岸を特徴づける白砂青松の海の眺望を生かした景観の維持・向上に取り組むことにより、公園にふさわしい利用を促します。併せて、常緑樹の植栽についても、適切な管理により景観の向上を図ります。

- 【施策体系】・視点 IV地域活性化への貢献
- ・施策の方向性 (6) 地域と一体となった魅力の向上
- ・施策展開の具体例 ⑭風景美術館をめざした景観づくり

【目 標】 老朽化した施設の計画的な更新

事後的な修繕補修から予防保全的な維持管理への転換を推進し、施設の維持管理に要する負担を平準化するとともに、ライフサイクルコストの低減を図るため、「公園施設長寿命化計画」に基づき、老朽化した施設の計画的な更新を行います。

なお、長寿命化計画は必要に応じて適宜見直し、予防保全的な補修だけでなく、機能向上や維持管理経費の削減に着目した施設の再生や、法令・規則等の改正に対応した施設改修や、機器類の機能向上や増加に伴う電気設備等インフラ施設の改修にも取り組みます。

- 【施策体系】・視点 V 効率的で効果的な公園整備とサービス
- ・施策の方向性 (5) 既存公園の再生
- ・施策展開の具体例 ②公園長寿命化計画の策定と更新

第3章 取組方針

湘南海岸公園が今後10年間を見据えた目標を実現するため、利用者へのサービスの向上を念頭に、管理や整備に関わる取組方針について、安全・安心への取組にも考慮し、次のとおり定めます。

3-1 管理運営方針

(ア) 基本方針

湘南海岸のバックヤードとして憩える空間の提供に努めることとし、夏期の海岸利用抜きには考えられない立地条件にあつて、公園が提供できる芝生池、緑陰といった休憩機能貴重であることから、これらの空間の快適な利用の提供に努めます。

(イ) 自然環境保全方針

マツ林と希少な海浜植物を保全育成します。

(ウ) 運営方針

目標を踏まえた、湘南海岸公園の運営における特に留意すべき事項は次のとおりです。

- 利用者の声に耳を傾け、管理運営に反映します。
- ビーチレクリエーションやライフセービングの活動拠点として管理運営を行います。
- サーフビレッジは、利用者へのサービス提供や情報発信拠点、環境教育運営拠点、交流拠点として運営します
- 公園内の施設（藤沢市観光センターや新江ノ島水族館等）と連携し、公園の持つ魅力を高めるような管理運営を行います。
- 公園をフィールドとして活動する多様な人材の発掘と、ネットワークの形成に努めるとともに、様々な市民グループとの連携によって公園利用の促進に努めます。
- 環境に配慮した管理運営面では、ゴミの持ち帰り・省エネルギー・クリーンエネルギー利用を推進し、循環型社会への普及啓発に努めるとともに、園内の植物管理に伴って発生する木や枝等を、園内リサイクルする等のゼロエミッションに努めます。

(エ) 維持管理方針

目標を踏まえた、湘南海岸公園の維持管理における特に留意する事項は次のとおりです。

- 施設や設備については、その機能や特性を十分理解した上で清潔かつ正常に機能し、利用者が安全で快適に利用できるよう適正な管理を行います。
- 芝生地やクロマツの緑陰などの保全、育成による良好な景観形成に努めることとし、芝生地の裸地化を避け、芝生地の良好な育成を図るため、必要に応じて立入禁止措置やエアレーション、土壌改良など芝生の管理を行います。
- 飛砂や塩害に対する対策を講じ、堆砂除去を定期的に行います。

- 利用者や団体との情報交換を図りながら維持管理業務を行います。
- トイレや遊具、木製施設などの公園施設については、重点的に巡視を行い、状況をよく把握し、安全に利用できるよう管理を行います。

3-2 安全・安心な公園への方針

地震・台風・大雨などへの対応、公園施設の老朽化に起因する事故の発生の未然防止、新型コロナウイルス感染症の拡大など近年の社会状況を踏まえ、公園の利用者や周辺住民が安心して公園を利用できるよう、次のとおり対応します。

(1) 地震災害

湘南海岸公園は、藤沢市地域防災計画上の位置付けはありませんが、大規模地震等、大規模災害発生時には、県・藤沢市・指定管理者と連携・協力して災害対応に努めます。公園内海岸護岸沿いに、津波避難タワーを有しており、大規模地震発生時には、海岸利用者の一時避難施設として機能するよう、適切に維持管理するとともに藤沢市と連携し避難訓練を実施します。

(2) 気象災害（台風・大雨等）

台風や豪雨等の自然災害への脅威の高まりなどを踏まえ、巡回点検や応急対策等のマニュアルを作成し実践します。また、県、指定管理者および防災機関との連絡体制の構築を行い、必要に応じて被害軽減のための事前処理の準備を行います。

(3) 公園の安全管理

園路や休憩施設、遊具などの公園施設は、専門業者による点検や公園管理者による日常点検やパトロールを定期的に行い、不具合の早期発見、早期対応を行います。また、施設沿いは、除草や剪定をこまめに行い、周囲からの死角を解消し事件事故の発生を未然に防止します。その他、想定される様々危機への的確な対応に努めます。

3-3 ゾーン別の方針

管理運営や改修整備等を重点的・効率的に実施していくために、園内の各ゾーンの現況等も踏まえ機能・目的・自然環境等により類型化し、ゾーンごとの方針を定めます。

(1) サーフビレッジ周辺ゾーン（西部地区）

サーフビレッジ周辺の芝生広場、水の広場、ちびっこ広場は、小さい子供の利用が多いことから、特に安全管理を徹底するエリアとします。また、多目的広場は園内で唯一スケートボードの利用が可能な施設として、適切に管理します。

公園外の施設として、サーフビレッジ前の鵠沼海岸ではビーチバレーコートが常設され、

またサーフィン愛好家の間ではいい波が来るサーフポイントとして賑わうエリアです。サーフビレッジ内にはシャワーを設置し、海岸利用者のためのサービス提供やライフセービング活動の拠点としても管理運営を行います。

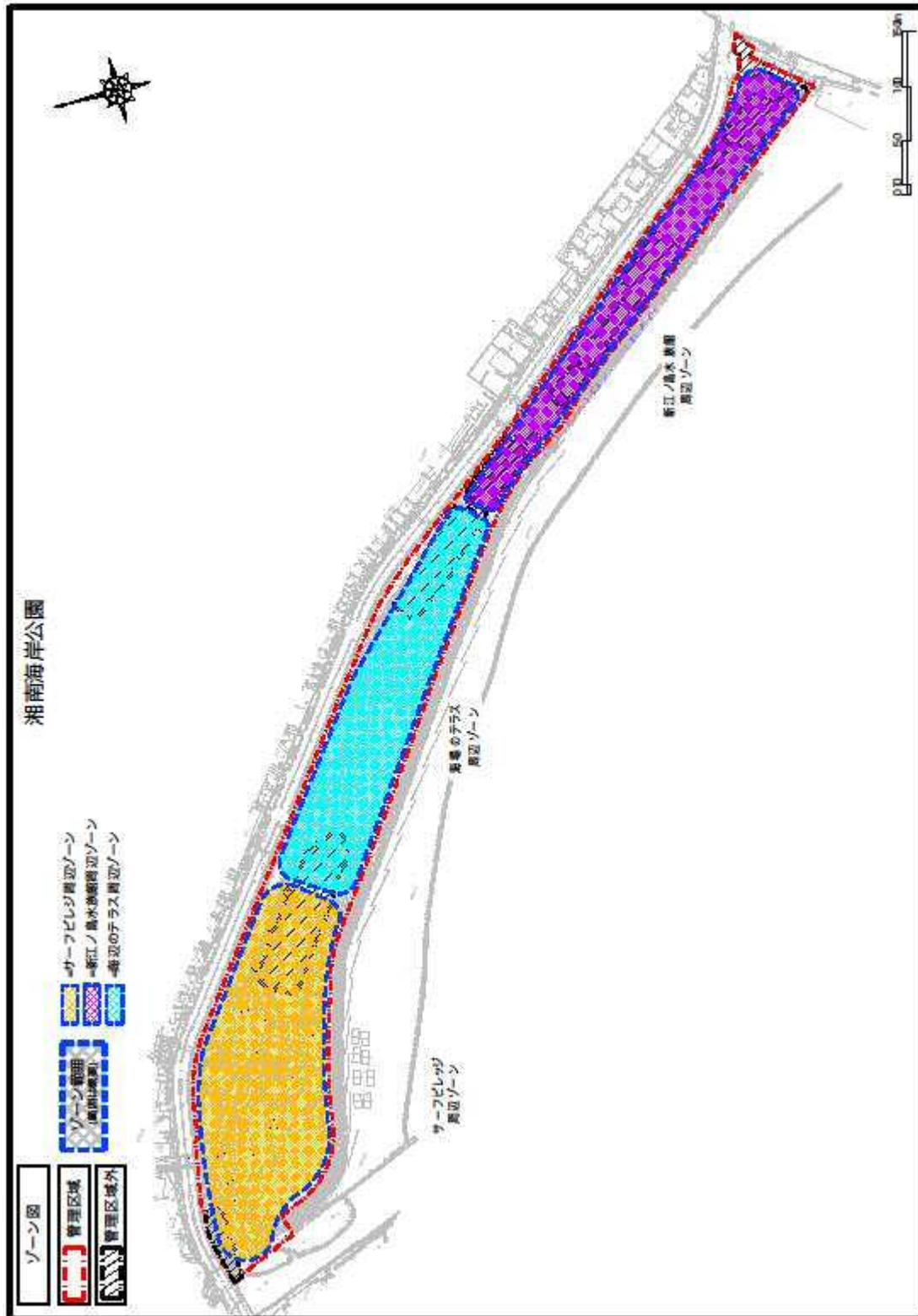
(2) 海風のテラス周辺ゾーン（中部地区）

公園中央に位置し、広々とした海風のテラスや芝生広場が配置されています。間近に見える江の島、西に見える海岸線と富士山の眺めが特に素晴らしいゾーンで、この広がりのある景観を阻害することなく維持するゾーンとします。湘南海岸公園から見る富士山は、関東の富士見百景に選定されています。散策や休憩等が楽しめるよう管理運営を行うこととします。夏季には海岸に鵜沼海水浴場が開設され、海水浴客が多く訪れます。

(3) 新江ノ島水族館周辺ゾーン（東部地区）

新江ノ島水族館を中心に、多くの観光客が訪れるとともに、夏季には海岸に西浜海水浴場が開設され、園内で最も多くの利用者でにぎわうゾーンです。ゴミの放置やトイレの汚損、破損など、利用者マナーの課題が多く、ゴミや危険物の除去や啓発活動の実施など園内の規律、清潔の保持に最も力を入れるゾーンとして維持管理水準を保つとともに公園利用者の安全確保に配慮した運営管理を行うこととします。

【湘南海岸公園ゾーン図】



3-4 整備の方針

公園の再整備・拡大整備・長寿命化などについては、本公園の性格・役割に照らし、長期的な視点に立つことを基本としますが、本公園のむこう 10 年間を見据えた目標を踏まえ、10 年間の整備計画を設定し、整備を行うものとします。

整備にあたっては、財政面での制約が厳しくなる中、民間事業者の資金・人的資源・ノウハウといった活力を、県立都市公園の整備に活かす必要があることから、様々な公民連携の活用を検討します。

(1) 整備方針

湘南の砂浜海岸と交通の大動脈ともなっている国道とに挟まれた細長い形状をしているため、海水浴客やサーファーなどを含めた海岸利用者が、休憩や散策などに誰もが公園を利用することができるよう、湘南海岸のバックヤードとしての休憩・駐車場機能を整備するとともに、ライフセービング・ビーチレクリエーション活動の拠点機能の維持のため、次を整備方針とします。

○長寿命化計画に基づく施設の更新により、公園施設を安全に利用できるよう、計画的に整備します。

○誰もが利用しやすい公園とするため、ユニバーサルデザインの推進、多言語表示のための計画的整備をします。

(2) おおむね 10 年以内に重点的に着手すべき主な施設等

次の施設等については、速やかに着手することが望ましいため、Park-PFI など公民連携の手法を含め、重点的な着手についての検討を行います。

名 称	所在ゾーン	事業効果	整備時期
サーフビレッジ	サーフビレッジ周辺ゾーン	老朽化施設の更新等	
インクルーシブ遊具	サーフビレッジ周辺ゾーン	ユニバーサルデザインの対応	
出入り口の改良	全域	ユニバーサルデザインの対応	